



与論町立与論小学校

与論小だより

〈キャッチフレーズ〉

Smile No.1

令和4年3月15日



ブログはこちらから

校訓：至 誠【真心をもって人に尽くす 真心をもって事にあたる】

あたたかな日差しの中で

校長 岩元 輝美



あたたかな日差しが窓から差し込み、春の到来を感じます。令和3年度も残すところあとわずかとなりました。コロナ禍、まだまだ予断を許さない状況は続きますが、最後まで学年のまとめをしっかりとできるように取り組んでいきます。

本年度を振り返った時、ブログ等で積極的に様々な教育活動並びに子供たちの成長の様子を発信してきましたが、保護者・地域の皆様に直接見ていただく機会が少なかったことが残念です。安心安全を第一としながらも、学びを止めずに教育活動を進めてまいりました。このような状況におきましても温かく本校の教育活動を見守ってくださった保護者・地域の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。コロナ禍における厳しい学習環境においても子供たちはこの一年で着実に力をつけ、成長してきました。

今、新しい時代を生き抜く力として、知識を獲得するだけではなく、知識を繋ぎ、思考し、新たなものを生み出す力が求められています。コロナと向き合う中で、何ができるのか、何が求められているのか、どのようにすればできるのか思考することがとても大切です。子供たちも学年相応の新たな学びのかたちの中で、その力を身に付けつつあります。子供たちが一人一台のタブレットを駆使して、学習に必要な情報を得ることができるような環境になりました。それらを何に活用するのか、どのように活用するのか、いろいろ試行錯誤しながら、新たな学びの姿を学校では追究していきます。次年度、子供たちがさらに成長してくれることを期待します。



さて、春は別れと出会いの季節です。別れは寂しいことではありますが、3月24日には19人の6年生が卒業を迎え、羽ばたいていきます。25日は修了式です。進級・進学する子供たちに、「一念岩をも通す」という言葉を贈ります。「一念」とは、そればかりをずっと思い続けているということです。要するに「強い気持ちをもってすれば、どんなこともできるものだ」という意味です。子供たちには、コロナに負けず、強い気持ちをもって、勉強したり、スポーツをしたり、習い事をしたりと大きな成果をあげられることを伝えたいです。そして、コロナ禍だからこそ、先行き不透明な時代だからこそ、「校訓『至誠』を胸に未来に挑む子供の育成」を図っていきたいと思います。



令和4年度も子供たち一人一人が安心して学ぶことができ、笑顔があふれる与論小学校をめざしていきたく思います。どうぞ御支援よろしくお願ひいたします。一年間ありがとうございました。ミッシークトートゥガナシ！